

HASHIKAMI 広報 はしかみ

2003年(平成15年)

9月号

September
No.528

発行/階上町 〒039-1201 青森県三戸郡階上町大字道仏字天当平1-87 編集/企画課 TEL(0178)88-2113 FAX(0178)88-2117



故人を偲ぶ静かな念仏

～ 赤保内青年駒踊り組が「念仏踊り」を行う ～

地域づくりは住民自らの手で

～田代せせらぎ公園夏祭り開催～



◆田代盆踊り組の踊り

8月16日、田代地区の田代せせらぎ公園で夏祭りが開催されました。

この祭りは、田代地区の住民で構成され、地区住民によるまちづくりを企画しているタシロピア実行委員会が主催。地区のコミュニティ活動の拠点として期待される「せせらぎ公園」のこけらおとしとなる、盆踊りがメインの特別なイベントでした。

これまで、10日から連日連夜このお祭りの開催のため、地区76戸の住民の方々が何らかの形で祭りに関わってきたのだそうです。

「祭りの成功で、携わった一人ひとりが自信を持つ

ことになる。この自信が地域づくりは自分達でもできるという確信となり、これからの地域づくりにつながるのではないか」と実行委員の土橋信夫さん。

お祭りは地元の田代小学校のえんぷりによってスタートされ、地元の田代盆踊り組の他、岩手県北の盆踊り組を含めた7つの組が各地の盆踊りを披露し、祭りを盛り上げました。

最後は地元の方々が参加しての盆踊りとなり、短い夏の地元の夏祭りを思い思いに楽しみました。

せせらぎの間こえる山間には、夜遅くまで盆踊りの楽しいお囃子が鳴り響いていました。



◆みんなで楽しみました

青少年の体験活動を支援します

～はしかみっこ支援センター設立される～



◆お話会の様子

はしかみっこ支援センター（事務局社会教育課）が6月に設立されました。

このセンターは学校週5日制の完全実施に伴い、子ども達の時間を有効に利用する体験活動やボランティア活動を支援することが目的です。

子ども、保護者からの「○○の活動を行いたいけどどうすればよいか」。あるいは町内各団体からの「私達は○の活動をしたいがやれる場はないか」といった双方の要望に応じていくということです。

この支援センターの最初のコーディネートとなる「お話し会」が、8月6日、21日の2回にわたって、道仏公民館で開かれました。

これは道仏小保護者からの、「夏休み中にお話を開催してもらいたい」という要望に応えたもの。

町内で読み聞かせ活動を行っているサークル「うさちゃんクラブ」の方々が訪れ、地区の子ども達に本の読み聞かせや、紙芝居を披露しました。

会に参加した子ども達はお話に静かに耳を傾け、残り少ない夏休みの貴重な時間を楽しくすごしていました。

【センター連絡先】

月～金 9:00～17:00
電話 88-2044

（ハートフルプラザ・はしかみ）

（木曜は特別に専任のコーディネーターが対応します）

第33回階上町防犯・交通安全少年球技大会

～ 短い夏の熱い戦い～

◆女子ミニバスケットボール



8月4・5日の2日間、第33回階上町防犯・交通安全少年球技大会が赤保内小学校を主会場に行われ、野球やミニバスケットなど8つの部で熱い戦いが繰り広げられました。結果は次のとおりです。

◆小学校野球



◆小学校野球の部

優 勝 小舟渡アブラメツ

準優勝 道仏甘納豆

◎優秀選手賞

長根 大樹・佐京 大新 (小舟渡)

久保 利之 (道仏)

◆小学校ミニバスケットボールの部 (女子Aリーグ)

優 勝 大蛇ハイビスカス

準優勝 小舟渡エンゼルフィッシュ

◎優秀選手賞

荒沢 恵美・中田 千尋 (大蛇)

下野 郁恵 (小舟渡)

◆小学校ミニバスケットボールの部 (女子Bリーグ)

優 勝 赤保内ファイターズ

準優勝 小舟渡プッチウニ

◎優秀選手賞

大山 あかね・野沢 美穂 (赤保内)

北沢 あずさ (小舟渡)

◆小学校ミニバスケットボールの部 (男子リーグ)

優 勝 赤保内ファイアードラゴンズ

準優勝 赤保内バカボンズ

◎優秀選手賞

澤田 幸喜・林 優貴 (赤保内ファイアードラゴンズ)

山本 光佑 (赤保内バカボンズ)

◆ユニホックの部

優 勝 階上A 準優勝 金山沢A

◎優秀選手賞

伊藤 文也・地代所 和也 (階上)

水越 豊克 (金山沢)

◆中学校野球の部

優 勝 道仏中学校 準優勝 階上中学校

◎優秀選手賞

谷崎 亮・高屋敷 祥大 (道仏)

中野渡 透 (階上)

◆中学校バスケットボールの部

優 勝 階上A 準優勝 道仏A

◎優秀選手賞

木谷 有希・笹川 麻衣 (階上)

笹山 美友紀 (道仏)

◆ソフトテニスの部

優 勝 階上A 準優勝 階上B

◎優秀選手賞

関下 真彩・大沢 恵 (階上A)

宗前 美佳 (階上B)

◆役場にも応援横断幕が掛けられました



皆さんご存知のとおり、今年甲子園でベスト8まで勝ち進むという大活躍をした光星学院には明戸裕治君と中屋敷聡君という2名の町出身者がいました。2人ともこの球技大会の出身者。今年の大会に出場した選手の中からも、二人に続くすばらしい選手がでることを期待したいものです。

◆会場を沸かせた西尾夕紀さん



第18回いちご煮祭り

～今年はいにくの悪天候となる～

夏のイベントとしてすっかり定着したいちご煮祭りが、7月26・27日の2日間開催されました。

今年は2日間とも史上初めてといってもいいほどの悪天候となってしまう、低い気温の中、雨が降ったりやんだりを繰り返しました。

それでも多くの方々が会場を訪れ、いちご煮を食べ、体を温めながら、各種ステージやイベントを楽しんでいました。

2日目の西尾夕紀さんのショーでは、歌はもちろんのこと、軽快なトークやものまねを披露。雨空を吹き飛ばすようなすばらしいステージでした。

道路通行の支障となる樹木の撤去

～町内業者がボランティア作業を行う～

8月10日、町商工会建設業部会を中心とした町内の建設業者20社が、道路通行の支障となる樹木の撤去作業を行いました。

本来、切り払い作業はその所有者や地区で管理すべきものですが、なかなか上手く進められていないのが現状です。

そこで、お盆を前にこれら町道に覆い被さった樹木を一掃しようと、同部会代表の荒谷哲二さんの呼びかけで企画されました。

この日は朝8時半より町内の各町道で作業が行われ、夕方にはどの道路も見違えるほど見通しが良くなりました。

◆ボランティアによる作業の様子



◆抱負を語る松倉さん



厳しい訓練を突破

～松倉さんが事業用操縦士取得の報告を行う～

8月15日、金山沢出身の松倉克憲さんが庁舎を訪れました。

松倉さんは、高校卒業後航空自衛隊に入隊し、4年半ほどの訓練を受け、今夏、事業用操縦士の訓練課程を卒業になるということです。

この事業用操縦士という資格は戦闘機を操縦できるもので、厳しい訓練が課せられるため取得が非常に難しいのだそうです。

松倉さんは「パイロットになることは小さい頃からの夢でした。航空自衛隊の役に立てるようなパイロットになりたいです」と抱負を語ってくれました。

今後は松島基地へ配属となって、最新鋭のF2戦闘機に乗り、更に訓練を重ねていくということです。

町議会議員視察研修報告書

階上町議会議長 桑原一夫

視察研修期間 平成十五年七月一日～四日

この度、町議会議員県外視察研修を実施するにあたり、当町において最も重要課題に掲げられるている合併関係を中心とする視察研修としました。

研修の内容としては、「市町村合併をしない矢祭町宣言」をした矢祭町、一島一市を指して島内十市町村の新設合併を進めている佐渡島、平成十三年一月一日に新潟市に編入合併をした旧黒埼町（現黒埼支所）の三ヶ所と、産業振興の面から養殖場の環境調査及び佐渡振興プロジェクト事業を進めている佐渡水産技術センター、旧黒埼町内に建設された新潟ふるさと村を視察研修して参りました。

まず、福島県矢祭町の視察研修ですが、当該地区は福島県と茨城県境に位置し、住民基本台帳人口は十三年三月末で七、二二五人で年々減少傾向にあるとこのことあります。

主なる産業は農業で、経営規模が小さいことからその殆どが兼業農家だということです。また、若年労働者の定住を進めるために企業誘致をされているということでもあります。

財政規模は、平成十三年度一般会計決算額で四十五億八千五百九万円、うち自主財源が約二四・一％と日本国内どこでも見かけるような町という印象を受けました。

研修では矢祭町長より、「当町は福島県の最南端に位置していることから、合併後の地域間格差の拡大をもろに受け、中心部から遠くなり、経済的・人的活性化がなくなり寂れていくことは明らかであり、地域の意見は反映されず、結局は中心地に一極集中が強まることは間違いない、貧乏くじはいつも末端の町村が引くことは、昭和の大合併で証明済みであります。

特に財政難ということを理由に合併に進もうとしているのであれば、それは絶対にやめるべきだと思う。何故なら国は、各地方自治体が正常に行政運営して行けるようにしなければならぬ責任があるからであります。実際、地方交付税が削減されたと言っても、臨時財政対策債等でそれを補っている。しかしながら、何時いかなる場合でも自立している町とするために、我が町独自の行政改革を進めてきたが、今皆さんにやっとな公表できるまでにまとめました。」というお話がありました。

町長と担当職員から

① 合併をしないで良かったと思われるような行政サービスを提供するために、町の全職員の自宅を出張役場とし、住民がわざわざ役場に出向かなくても、住民票・印鑑証明等の交付や納税をその職員に依頼することができるとした。

② 少ない財源確保のために、助役以下全職員を徴税吏員とし、滞納整理に毎晩時間外勤務手当てなしであった

ており、現在の滞納額は七千万円位あるが、その成果は着々と上がっていて、これまでの二十年間の不納欠損額が百四十七万円だけである。各自の滞納整理状況については、各々が滞納整理日誌を記入の上、町長の決裁を受けることとしている。

③ 矢祭町の職員定数は一〇九人であるのに対し、現在八六人とかかなり削減しているが、これを十年後には五〇人程度まで削減するため、機構改革を進めることとした。現在ある課をできる限り統廃合し、仕事を係ごとに区切るのではなく一つのチームとして課全体であることとし、係長制をなくして作業効率を高めることにより人員削減を図ることとしている。また、町長は職員に頑張って貰っていること、よりよい住民サービス提供の観点から職員の給与カットは考えていないということでした。

④ 幼稚園と保育園を一元化し、幼稚園の子供の預かり時間を保育園と同じ時間帯

とし、共働きできる状況づくりを考慮した。

以上の説明のあと町長は、「これまで述べた町づくりは、合併の話が出たからということではなく、合併を前提としてこなかった結果によるものであり、目の前に金を貸してやるということに飛びついたので、あまり恰好の良いものではない。

また、我が町の住民に他市町村と比較して肩身の狭い思いはさせられない事から、ハード事業は無くすることはできない。優先順位を付けて実施することによって町民が潤う町づくりをしていきたい。各種団体には補助金は出していないが、子供のものと老人のものは満点だと思っている。下水道については、やらないよりはやろうとゆっくりに急げでやっている。しかし私は、下水道の時代は過ぎたと思っている。後々のメンテナンスを考えた場合、合併浄化槽を進め個々に補助金を出した方が最善と思う。

また、今年の四月から法定の委員を除く、各種審議委員

は無報酬としボランティアとした。三役及び教育長の給料は、総務課長より仕事をしないという事で、総務課長と同程度までカットすることとした。議会については、合併して議員が一人も関わりがなくなるよりは、現在の一人を一人にしたとしてもそちらの方がよいということで、任期切れとなる来年の三月から実施することで議決した。議員報酬以外の費用弁償等については一切支払わないこととした。このように皆で努力して節約しています。」

とのことでありました。質疑応答では、今回の視察研修に参加した当町と宮城県角田市、群馬県白沢村の三市町村より、

① 近隣市町村で実施している広域事業は、合併しないことにより何ら問題はないのかという質問に対し、

回答・広域事業を進める上で各市町村の規模により負担金を決めて負担している訳で、合併しないからということとその広域事業から一方的に除外するとかという

ことは、法律上からいっても出来ないことで我々は全く心配していない。

② 地方交付税がここ何年間か減らされ、それを臨時財政対策債によって補ってき

た訳ですが、その臨時財政対策債については平成十五年度までとなっていることについてはどうか。

回答・国は地方交付税を減らすという事は一言もいっていない。合併をさせてりストラをして金がかからない形にして、合併した市町村の交付税を削減しようとしている訳で、合併をしなれば交付税を減らすという事は出来ないと思っ

ている。また、市町村の中心となるところは栄えるが、中心以外の周辺は栄える訳がない。条件の良い合併ということとはまずあり得ないと思う。

③ 全国で唯一「市町村合併をしない宣言」をした町であると言いますが、住民への説明及び住民の考え、宣言をするに至った経過を教えてください。

回答・平成十一年十一月の議会において、合併についての町長の考えを問うたところ、町長は合併はしない。

する必要がないと回答した。平成十三年六月に合併問題

についての考え方は変わらな

いのかと問うたところ、町長は変わらない。矢祭町は自分でやると答えたことにより、議会としても意思表示する必要があるということから色々話し合った。話し合いの中で、(1)合併は時代の流れで避けて通ることはできない。(2)合併は国の方針であり逆らうことは良くない。(3)我が町は端であることから合併してもこれ以上良くなる見通しがない。等の意見が出され、町にとって何が一番良いことかを基本として考えた場合、地理的条件等を考慮した場合、合併せずにこのまま独自に進むべきだという全会一致の結論に達し、町議会において「市町村合併をしない宣言」に至った。町と住民との対話については、遅れたことは確かであるが、平成十四年一月上旬から二月下旬にかけて全

世帯を対象にアンケート調査を実施した。アンケート調査は、十五歳以上を対象とし世帯の一人を指名の上無記名とした。回収は地域の代表をお願いし、地域の代表では駄目だという人には、役場の職員のところへ届けて貰うことと



矢 祭 町

した。その結果一、九六〇世帯中一、八八六世帯から回収し、回収率九六・〇四％と非常に高い数字を残すことができた。アンケートの結果は、合併に反対の人が七〇・九％、合併に賛成の人は一九・五％、わからないと回答した人が八・

○%という結果となったという
ことでありました。以上が
第一日目の視察研修の概要で
あります。

第二日目の視察研修は、産
業振興ということで佐渡水産
技術センターを訪問し、①地
場産クロアワビ放流技術開発、
②有用藻類増殖技術開発等
についての研修をしました。

佐渡島は十市町村で構成さ
れており、主な漁獲物として
イカ・ブリ・カニ・貝類等が
あげられるほか、カキ・ワカ
メを主体とした養殖業が営ま
れているようです。

平成十二年の漁業生産量は
一二、一五二トン、売上高五
十六億一千万円、保有漁船隻
数は二、二四六隻と比較的漁
業の盛んな地域ですが、漁業
生産量及び売上高は年々減少
傾向にあるということです。

また、漁業従事者の年齢層を
みると年々高齢化が進み、後
継者不足が深刻化しつつある
とのことでありました。

新潟県では、当初アワビ、
サザエ、ヒラメ、ヤナギムシ
カレイ、バイの五種類の種苗
生産を行っていたが、平成十

二年度にサザエの生産事業を
中止、平成十三年度にアワビ
の生産事業を中止し、現在三
種類のみの種苗生産というこ
とであります。しかし、放流

事業としては平成十三年度に
ヒラメ、ヤナギムシカレイ、
バイ、クルマエビ、エゾアワ
ビ、メガイアワビの六種類が
実施されており、現在、生産
活動を中止したクルマエビ、
エゾアワビ、メガイアワビの

三種類は、漁業協同組合が他
県(秋田・福島・山形県)から
稚貝を購入し放流しているこ
とです。ヒラメ、クルマ
エビ、アワビについては漁業

者が放流経費を負担して実施
しているということでありま
す。有用藻類については、埋
め立て等により約五〇haの藻
場が減少したことから、平成
十三年～二十二年までの十年
計画で五〇haの藻場造成を行
うものであるということです。

また、現在国庫補助事業に
より佐渡島地内に海洋深層水
(水深三五〇m)を汲み上げる
施設を、平成十六年四月の可
動開始を目的に総工費十五
十六億を投じて建設中とのこ

とで、完成すると年間一、二〇
〇トンの無菌質の綺麗な深層
水を汲み上げることができ
ようになり、その内七〇〇ト
ンは近年の海水汚染により病
気等の発生率が高くなってき
ている稚貝・稚魚飼育用等と
しての水産関係に、残り五〇
〇トンは鮮魚輸送のための製
氷等の水産外に使用する計画
であるとのことでありました。

第三日目の視察研修は、佐
渡島の一市七町二村が一島一
市のまちづくりを目指して、
合併協議を進めている佐渡市
町村合併協議会を訪問しまし
た。

平成十三年六月に、一市七
町二村による佐渡市町村合併
検討協議会を設置したが、こ
の時点では両津市はオブザー
バーとしての参加であった。

平成十三年十二月に両津市が、
合併検討協議会への正式加入
を表明。平成十四年二月に合
併方式を新設とし、平成十四
年七月に新市の名称を佐渡市
とした。平成十四年十月三日
に新市の事務所の位置を金井
町千種地区に決定したが、そ
の結果により佐和田町が離脱

表明したことにより一島一市
を前提とした佐渡市町村合併
検討協議会を解散することと
した。平成十四年十月三十一
日に、佐和田町を除く九市町
村が集まり、佐渡島の今後の
対応を検討した結果、「佐渡
は将来一つにまとまるべき」
との共通の認識を持つに至り、
佐渡市町村合併推進協議会を

設置。平成十五年一月に九市
町村による法定合併協議会を
設置した。平成十五年二月に
佐和田町から同法定合併協議
会への加入申し入れがあり、
受理されることとなり、平成
十五年三月に十市町村が法定
合併協議会設置議案をそれぞ
れの議会において可決し、平
成十五年六月二十八日には合



佐渡市町村合併協議会

併協定調印式が行われ、平成十六年三月一日の合併が確定したというものであり、ここ

までに至った苦労話等を含めた経過を述べ説明して頂いた。

そもそも佐渡島の一島一市のまちづくりを旨とした発端は、地方交付税が削減されて財政的に大変だとかそういったこ

とではなく、若者の県外流出や少子高齢化が進み島に活性化がなくなるとともに、かつて十二万六千人余りあった島の人口が平成十二年の国勢調査で七二、一七三人にまで激減しており、近い将来五万人程度になるだろうとの見込み

であります。また、佐渡島の産業は、農林水産業と観光から成り立っている訳ですが、これまで年間約一二三万人の観光客が訪れていたものが、

十年足らずで七八万二千人まで落ち込んだこと等から、さらに活気減退に拍車がかかる形となった。そうした中で、佐渡の活気を取り戻すために

どうすれば良いのかを色々話し合い検討した結果、島民が一つとなり島全体で取り組んで行くべきだという結論に達

したことから一島一市のまちづくりとなったとのことでありました。

第四日目の視察研修は、平成十三年一月一日に新潟市に編入合併をした旧黒埼町の役場で、現新潟市黒埼支所を訪

問しました。旧黒埼町は、当時人口二五、八九三人、面積二五・九七㎏と人口の割りには、あまり面積の大きい町ではなかったよう

であります。しかし、地理的には新潟市のほぼ中央部に隣接しているばかりでなく、市の中心部にくい込む形での

町であったことから、合併する以前から自分たちは新潟市民と同じなんだという意識が、

少なからずあったように思われるとの説明でありました。旧黒埼町の合併に至った経緯は、平成元年の町長選挙において新潟市との合併に関する住民アンケート調査を実施することを公約の一つに掲げた町長が誕生した事に端を発し、平成三年十月に公約ど

あり、その内訳は合併に賛成三一六人、どちらかといえば賛成一六六人、どちらかとい

えば反対一〇一人、合併に反対九〇人、わからない四〇人という結果となり、合併賛成

が六七・六%となったことにより新潟市への合併を検討することとなったとのことで、

平成四年に行政サービスと比較、合併のメリット・デメリット、合併の手法・手続き等、合併に係る問題点について検討を行うため、新潟市・黒埼町合併問題調査検討会を設置

した。比較は二五〇項目を対象として実施したが、合併してよくなるが一一八項目（住民の利便性が良くなる等）、

同程度が一三項目、悪くなるが一九項目（税負担の増加等）という結果であったとのことでありました。平成六年九月十月にかけて町内七ヶ所において新潟市合併問題住民説明会を開催し、

市・黒埼町合併問題協議会が開催され、以後住民説明会を二回、合併問題協議会を八回

開催した後、平成十一年十二月に双方の議会において法定協議会の設置を議決。平成十二年二月に合併協定書の調印、

合併期日を平成十三年一月一日とした。合併協定書の主な内容は、合併の方式については編入合併とし、黒埼町の

議会議員については、在任特例を適用し、合併後は新潟市の議会議員の残任期間となる

平成十五年四月までは新潟市の議会議員として在任し、今年の四月が任期であったことから、合併後初めての選挙が行われ旧黒埼町の地区から三名が当選されたとのことでありました。

農業委員会の取り扱いは、黒埼町の農業委員の任期の間は、現在両市町に設置されている農業委員会の区域ごとに現行のまま設置し、任期後は

上の支所とすることとし、支所の組織については、住民生活に急激な変化を来すことのないよう配慮し段階的に再編、

見直しをはかることとした。そのことから住民に直接影響のない管理部門の企画課・議会事務局等は、合併と同時に

統合されており、住民に直接関わりのある町民課・建設課・農林水産課等の七課はそのまま支所に残り、合併前と同じ業務をしているということ

で、現在は六三名の職員が残っているということでありました。各種団体への補助金等については、従来の実績を下回らないよう配慮している

が、合併後の市内において均衡を失しないよう調整を図るとしている。除雪については、これまでの除雪路線を新潟市の除雪計画路線とし、現

行の水準を維持することとし、黒埼町の自治会除雪助成については現行のとおりとして、現在も黒埼支所が管轄しているとの説明でありました。しかし、合併協定書では黒埼町役場は将来地区事務所とする

くは窓口業務のみとなる予定であるが、現在新潟市を含めた十三市町村で進められている合併問題では、全ての市町村を支所扱いとすることとしていることから、その結果次第によっては旧黒埼町も支所扱いに変わる可能性があるとのことでありあります。

次に、新潟市・黒埼町合併建設計画であります。建設計画の内容については全て黒埼町に関わる一〇二件におよぶ事業計画であります。その計画に対し新潟市は、合併特例債の二百十五億円全額を向けるばかりでなく、更に新潟市が五百十八億円を上乗せした七百三十三億円の事業費により、市民会館・総合運動公園・小学校三校の統合校舎建設等を、十年間で全て完成させるといふもので、合併から二年半経過した現在約二〇%の進捗率にあるとのことあります。

次に、合併後一ヶ年を経過した平成十四年四月に、新潟市が市の各所属に対して行った新潟市・黒埼町合併後の調査結果では、黒埼地区住民へ

の効果として利便性の拡大、様々な活動範囲の拡大、各種事業を受けることが可能となった特典等が七二項目にわたっており、課題としては、自治連合組織の問題等五項目があげられているとのことでした。但し、この調査は市の各所属での調査であり、市民に対しての調査結果でないことを申し添えておきます。

旧黒埼町は、平成十一年度年間予算額が約八十五億円、そのうち町税収入だけで三十二億円と年間予算額の約三八%を占めているという、財政的に非常に恵まれた町であった訳であります。その旧黒埼町は、新潟市のほぼ中央部に

にくい込む形で位置し、地理的にも非常に恵まれた状況にあり、合併したとしても旧黒埼町地区が寂れていくという不安材料が全くないこと。また、産業構造の面でも第一次産業七・九%、第二次産業二八・二%、第三次産業六三・九%であることから、その殆どが新潟市への通勤であり、また、通学や買い物等日常生活圏においても新潟市と一体

化していることからの合併であると思われれます。

旧黒埼町が合併した新潟市は、平成十五年六月末の住民基本台帳人口約五二万八千人、年間総予算は千九百二十三億八千万円、そのうちの約六〇%が自主財源と財政豊かな市であり、現在新潟市を含めた十三市町村の合併を検討中というところで政令都市を目指しているとのこと。また、新市の建設計画については、現在合併特例債のみでの対応としており、防災無線・市立図書館等の広域的なものについてのみ、新潟市の計画が組み込まれる可能性があるとのことあります。

今回、合併に関して研修した三ヶ所に共通していえることは、それぞれの市町村が、財政面ということ抜きにして、自分たちの住む街や地区をより良いものとするにはどうすればいいのか、ハッキリとした目的を持ち、真剣に議論し、考えた結果による選択であり、そこには首長・議会が各々の立場で、己の信念のもとに、しっかりとしたりー



新潟市黒埼支所

ディング的存在があったが故になし遂げられたものであり、その優れた指導力に対し深く敬意を表するものであります。

我が町の合併問題も、今回の研修視察を参考として、我々議員が一丸となって合併の議論を深め、将来に後悔を残さ

ないために全力投球する覚悟であります。合併問題の最終的な決断は、我々議会に与えられた責務であり議員の責任であることをしっかりと認識

した上で、町民にとって最も良い形となるように努力することをお誓い申し上げ、県外視察研修の報告といたします。

合併情報掲示板

八戸地域合併協議会合併期日05年1月1日に決定。

八戸地域合併協議会が8月5日に第2回の協議会を開催しました。

今回の協議会では①合併の期日②公有財産管理③財産区④個人市町村民税⑤法人市町村民税⑥軽自動車税⑦市町村たばこ税⑧鉱産税⑨入湯税⑩固定資産税⑪特別土地保有税⑫新市建設計画の策定方針及び構成(案)が承認されました。

決定された内容は次のとおりです。

①合併の期日について

⇒ 合併の目標期日は、平成17年1月1日とする。ただし、特段の事情が生じたときは、目標期日を見直すものとする

②公有財産管理について

⇒ 8市町村の所有する財産及び債務は、すべて新市に引き継ぐ。

③財産区について

⇒ 福地村、南郷村、名川町、田子町、及び新郷村の2町3村において、合計10の財産区が設置されている。
これらはすべて新市に引き継ぐ。

④個人市町村民税について

・税率(均等割)

⇒ 地方税法の規定により、年額2,500円(現在2,000円)となる。ただし合併年度及びこれに続く5年度間は経過措置として不均一課税を実施する。

・納期(普通徴収)

現在	合併時	合併後
第1期 6月1日～6月30日	現行 どおり	第1期 6月1日～6月30日
第2期 8月1日～8月31日		第2期 8月1日～8月31日
第3期 10月1日～10月31日		第3期 10月1日～10月31日
第4期 12月1日～12月25日		第4期 12月1日～12月28日

⑤法人市町村民税について

・税率

⇒ 法人税割14.7%(現在12.3%)均等割60,000円(現在50,000円)となる。ただし合併年度及びこれに続く5年度間は経過措置として不均一課税を実施する。

⑥軽自動車税について

・税率

⇒ 8市町村で差異がないため、現行どおりとなる。

・納期

⇒ 八戸市の制度、5月11日～5月31日(本町4月11日～4月30日)となる

⑦市町村たばこ税について

⇒ 8市町村で差異がないため、現行どおりとなる。

⑧ 鉱産税について (鉱物の採掘事業者に課する税)

⇒ 八戸市、階上町、福地村、南郷村、南部町、田子町の制度に統一する。
税率 1/100

⑨ 入湯税について (鉱泉浴場における入湯に対して、入湯客に課する税)

⇒ 八戸市、福地村、田子町、新郷村の制度に統一する。
税率 1人1日150円

⑩ 固定資産税について

・税率

⇒ 八戸市の制度1.6% (本町1.4%) となる。ただし合併年度及びこれに続く5年度間は経過措置として不均一課税を実施する。

・納期

八戸市の制度に統一する

現在		合併後	
第1期	5月1日～5月31日	第1期	4月1日～4月30日
第2期	7月1日～7月31日	第2期	7月1日～7月31日
第3期	9月1日～9月30日	第3期	9月1日～9月30日
第4期	11月1日～11月30日	第4期	11月1日～11月30日

⑪ 特別土地保有税について (面積5000㎡以上の土地の取得と保有に対する税)

⇒ 八戸市・階上町・南部町の制度に統一する。
面積5000㎡未満を免税の対象とします。

⑫ 新市建設計画の策定方針及び構成(案)について

1. 策定方針 (主な部分を抜粋して紹介します)

● 計画の位置付け

新市の将来のビジョンを示し、合併の適否を判断する材料のひとつとなるとともに、新市の一体性を速やかに確立し、新市の均衡ある発展と住民の福祉の向上を図ることを目的に策定する。

● 計画の期間

計画における施策の実施及び財政計画の期間は、平成17年度から平成26年度までの10年間とする。

なお、原則として、新市の基盤を確立するために重要性の高い事業やこれまで8市町村で取り組んできた継続事業など熟度の高い事業は平成17年度から平成21年度までの前期計画とし、必要な調査・設計、地元との合意形成、関連事業との整合性の確保など着手に一定の期間を要する事業は平成22年度から平成26年度までの後期計画とする。

また、後期計画は、年数の経過とともに、社会経済情勢や住民ニーズとの乖離かいりが大きくなる可能性があるため、前期計画終了の時点で、社会経済情勢の変化などを背景とした事業の見直しを含め計画の進捗状況の評価を行い、後期計画に反映させる。

2. 構成

この新市建設計画は7つの章から構成され、それぞれの項目は次のとおりです。

〔計画策定の方針〕

1. 計画の趣旨
2. 計画の構成
3. 計画期間

〔第1章 序論〕

1. はじめに
2. 合併の必要性

〔第2章 新市の概況〕

1. 位置
2. 面積
3. 人口及び世帯数

〔第3章 新市建設の基本方針〕

1. 将来都市像
2. 都市づくりの基本方針
3. 将来都市構造

〔第4章 新市の施策〕

1. 地域の個性を活かした交流都市づくり
2. うるおいと安らぎに満ちた都市づくり
3. 住民一人ひとりが輝く都市づくり
4. 多様な産業が躍動する都市づくり
5. 豊かな自然と伝統・文化を引き継ぐ都市づくり

〔第5章 新市における青森県事業の推進〕

1. 青森県の役割
2. 新市における青森県事業

〔第6章 公共施設の適正配置と整備〕

〔第7章 財政計画〕

まちからのたより

年金たより

老齢基礎年金の 繰上げ請求は慎重に

将来受け取る老齢基礎年金は六十五歳からの受け取りが原則となっておりますが、もう少し早く受け取りたいという場合は六十歳から六十五歳未満の希望する時から繰上げて受けることができます。

しかし、老齢基礎年金を繰上げて受け取った場合、年金を早く貰えるメリットはあるのですが、反面、六十五歳から受け取る場合と比べて、不利な点もあります。

まず、早く受け取れるわけですから、その分年金が減額され、その額は生涯変わらないという点です。また、一度繰上げ請求をしてしまうとその後取り消すことができなくなりますのでご注意ください。

その他、繰上げ支給を受け始めてからは、事故や病気で障害者になった時の障害基礎年金や、夫が一、夫が亡くなった時の寡婦年金が受けられなくなります。

「年金を早くもらいたい」と思われている方は、これらのこともよく考えなければなりません。老齢基礎年金の繰上げ請求について、詳しくはお近くの社会保険事務所へお問い合わせください。

【問い合わせ】

町民課国民年金係 ☎88-2119
八戸社会保険事務所 ☎43-7368

10月1日から

戸籍の本人確認実施

町では、法務省通達により10月1日から、戸籍届出のために来庁された方の「本人確認」を実施いたします。最近、他の市町村において、金融機関からの融資を目的に「氏」を変更する手段としての養子縁組や、本人の知らない間に第三者によりなされる虚偽の婚姻届出が増えています。

このため町では、これらの事件を防止し戸籍制度に対する信頼を確保するため、窓口へ戸籍の届出に来られた方がご本人かどうかの確認を、運転免許証などにより実施することになりました。

なお、身分証明書を提示できない場合であっても、届出の受付はいたします。ただし、身分証明書を提示できない方や来庁されなかった届出人の方には、届書受理後に「届出があった」旨を郵送でお知らせいたします。お手数料をおかけしますが、町民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

身分証明書が必要な届出	身分証明書の種類
<ul style="list-style-type: none"> 婚姻届 離婚届 養子縁組届 養子離縁届 <p>※上記以外でも身分証明書の提示を求められる場合がありますので、ご協力をお願いします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 運転免許証 パスポート 等 <p>※官公署発行の顔写真が貼付されている身分証明書をお持ち下さい。</p>

【問い合わせ】 町民課 戸籍係
☎88-2119 内線171・172

国保からのお知らせ

平成15年度国保被保険者証を9月30日までに各世帯に郵送します。今まで使用していた被保険者証は、有効期間切れのため使用できなくなりますので、10月1日以降速やかに返還して下さるようお願いします。

新しい被保険者証の種類と色

区 分	色	有 効 期 間
国保被保険者証	はだ色	自：平成15年10月1日 至：平成16年9月30日
国保退職被保険者証	うぐいす色	
国保特定疾病療養受療証	ぎんねずみ色	
国保被保険者資格証明書	黄色	

なお、次のような場合は、被保険者証を分ける手続きが必要です。

	こんなとき、こんなひと	手続きに必要なもの
④の必要な人	出稼ぎや旅行などのために、長期間階上町を離れるとき	・新しい被保険者証 ・ハンコ
⑤の必要な人	親元を離れている学生さんで、分けた保険証が必要なとき	・新しい被保険者証 ・在学証明書（学生証の写では手続きできません） ・ハンコ

国保税の滞納世帯には短期被保険者証を交付します

万一の病気やケガのときに、経済的に心配がなく医療を受けられるように日頃から収入に応じてお金を出し合い、お互いの生活上の困難を助け合おうという目的から生まれた「健康保険」という制度を正しく推進するために、町では、国保税が未納になっている滞納世帯に対し、期限付きの短期被保険者証（3か月毎に更新する被保険者証）を交付します。国保加入されている皆様のご理解とご協力をお願いします。

なお、国保税を納付したくても、都合により納期限までに納付できない場合は、分割納付という方法もありますので、税務課収納係までご相談ください。

【問い合わせ】保健福祉課 国保係 ☎88-2115(内線184・185) 税務課 収納係 ☎88-2114(内線153)

『法人県民税・法人事業税』

法人を設立したとき等は届出をお忘れなく

次の場合には、県税事務所に届出書を提出してください。

- 1 法人を設立したとき。
- 2 法人を解散・清算したとき。
- 3 その他「登記事項（法人の所在地、名称、代表者、資本金等）に異動が生じたとき。

なお、インターネットの県税ホームページ「県税・市町村税インフォメーション」からも届出用紙の様式をダウンロードできますのでご利用ください。

【問い合わせ】八戸県税事務所 課税第一課

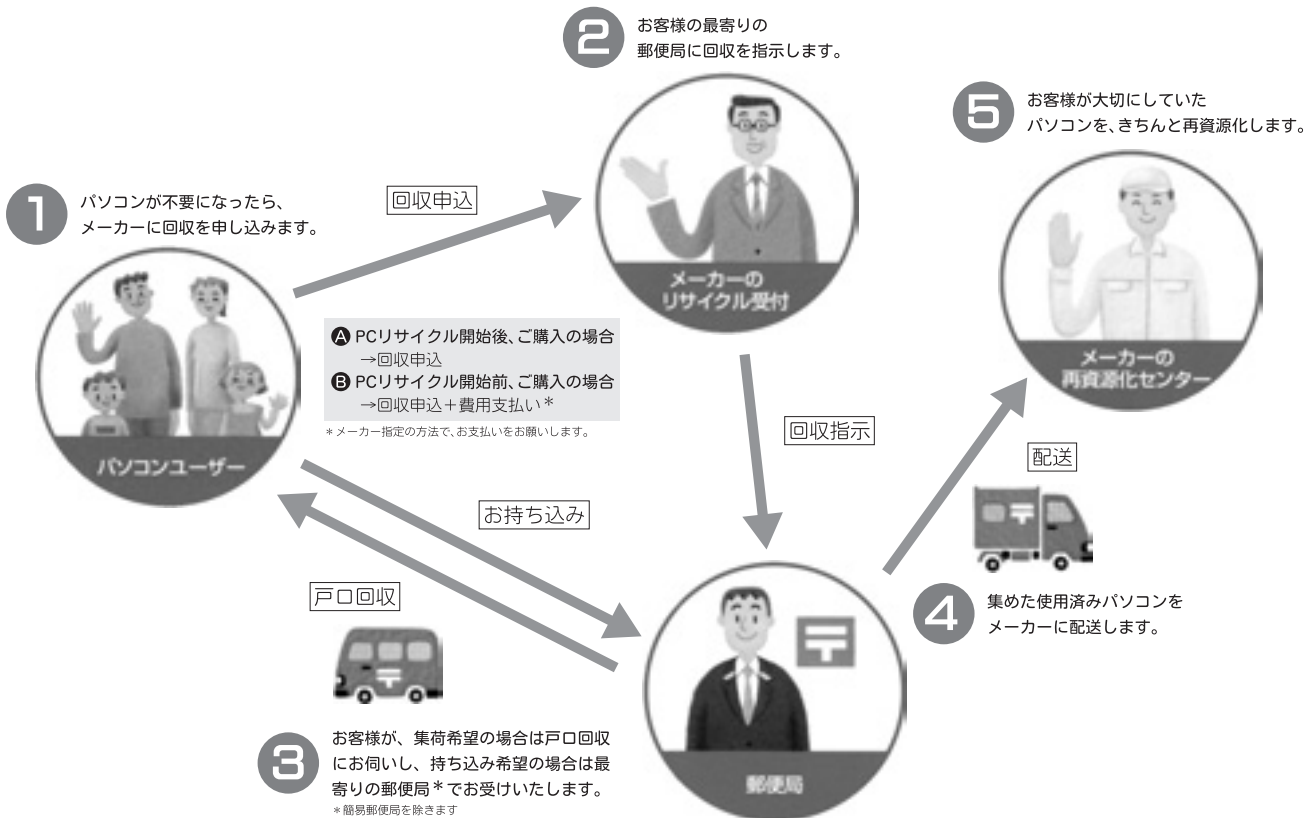
法人県民税・法人事業税担当

☎27-5111 内線208

HPアドレス <http://www.pref.aomori.jp/zeimu/>

10月よりパソコンの回収・リサイクルが変わります

「資源有効利用促進法」にもとづき、家庭から出される使用済みパソコンの回収・リサイクルをする“PCリサイクル”が10月1日より開始されます。これは、消費者とメーカーが協力しながら、使用済みパソコンを再資源化することにより、廃棄物の削減と資源の有効利用の促進を目指すものです。この“PCリサイクル”がスタートすると、パソコンの回収・リサイクルは次のようになります。



これに伴い、町ではごみとしてのパソコンの収集を行いません。PCリサイクルについて詳細は <http://www.pc3r.jp> をご覧下さい。

【問い合わせ】町民課 生活環境係 ☎88-2119

飲酒・暴走運転を追放しよう

《本県は飲酒死亡事故多発県》

県内では、毎年、飲酒運転による死亡事故が20件前後発生しており、全国平均を大きく上回っています。

《飲酒運転の危険性》

飲酒した場合

- 理性・自制心が低下、危険を顧みずに暴走運転をする。
- 感覚の鈍化により、安全確認・判断能力が低下する。
- 身体的動作が鈍くなる。

等、正常な運転を続けることができなくなり、悲惨な交通事故を招く原因になります。

《飲酒運転根絶のために》

飲酒運転によって起こる悲劇を繰り返さないため、運転者が交通ルールを守ることは当然ですが、皆さん一人ひとりが協力して、飲酒・暴走運転の追放に努めましょう。

飲んだら乗らない、乗るなら飲まない！
酒気帯び運転は、90日の免許停止！



生きがい中央大学受講生募集!

～『明るく たのしく 元気よく』をテーマに～

町内60歳以上の方を対象に「生きがい中央大学」を下記のとおり開講しますので、多数ご参加ください。

- 【学習内容】 講話、軽スポーツ・レクリエーション、施設見学、クラブ活動、交流会等。
【学習予定日】 10月21日（開講式）
11月18日・25日、12月9日・16日、1月13日・27日、2月10日・24日
3月2日（閉講式）
午前10時から午後3時まで 全10日間
【募集人数】 一般受講者20名（老人クラブ会員は各会長を通じて募集します。）
【参加費用】 参加費1,000円（クラブ活動費等）また、材料費・交流会費・施設見学の際の昼食代等は別途受講者負担とする。
【送迎】 福祉バスを運行します。（時刻表は申込後お知らせします。）
【申込み締切】 9月25日（木）
【申込み・問い合わせ】
◇社会教育課 ☎88-2698 上野
◇ハートフルプラザ ☎88-2044 岩崎
《申し込みにあたっては、氏名、年齢、住所、電話番号、送迎バス利用の有無、希望バス停等をお知らせください。》

募集 階上町水泳協会

仲間ができてプールが楽しくなりますよ

入会資格

階上町民プールを利用されている方なら町内外を問いません。

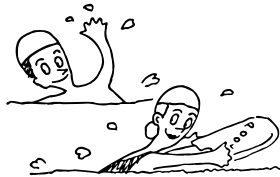
初心者大歓迎・水中ウォーキングしている方も大歓迎。

町内外の各種大会参加可能です。

会員同士の親睦会もあります。

年齢・男女問いません。

年会費 一人 2,000円



●問い合わせ・申込

水泳協会事務局（鹿原）

石鉢ふれあい交流館 ☎80-1671

または 町民プール ☎88-4083

職員募集のお知らせ

八戸平原土地改良区の職員を次のとおり募集致します。

1. 採用人数

技術系職員1名

2. 受験資格

高校以上を平成9年3月以降に卒業された方又は現在在学中で平成16年3月に卒業見込みの方

3. 給与及び勤務条件

本土地改良区で定める規程による。

4. 応募受付期間

10月1日(水)から10月20日(月)まで

5. 採用試験日

11月2日(日)

6. 申込先及び問い合わせ

八戸市堤町9-3

八戸市平原土地改良区総務課 ☎46-2296

● 漁業センサス実施のお知らせ ●

漁業センサスは、わが国漁業の実態を明らかにするため、5年ごとに実施する大規模な調査です。

今回は、11月1日現在で、漁業を営む漁家や会社のほか、水産関連業の皆様を対象として全国一斉に実施します。

調査員が訪問して、漁業経営の状況などをお尋ねしますが、調査した内容は秘密が守られ、統計資料を作成するためだけに使用します。

皆様のご理解とご協力をお願いします。

【問い合わせ】 企画課 ☎88-2113

各地区のゴミの収集日

地区名	資源物の日		燃えるゴミ	燃えないゴミ	粗大ゴミ
	空缶・空ビン ペットボトル	新聞紙・雑誌 古布・段ボール			
中央・西部 地区	毎週 月曜日	毎月 第2・4 水曜日	毎週 火曜日 一部金曜日可 (蒼前西の一部)	毎週 月曜日	9月18日 (木)
東部地区	毎週 水曜日	毎月 第2・4 金曜日	毎週 木曜日	毎週 水曜日	9月16日 (火)

※燃えるゴミや、燃えないゴミなど、まだ「黒い袋や、ダンボール箱」などに入れ出されているのを見受けられます。
町では収集しませんので、透明な袋に入れて出して下さい。
 また、オレンジのかご（資源物）、青いかご（燃えないゴミ）の出し方が、まだ守られていませんので、チラシ等を見て収集日を守って下さい。

ゴミは収集日に
朝 8 時まで
出そう

台所の生ゴミは水
分をよく切ってから
出そう

ジュース缶は
ゆすいであら
出そう

スプレー缶などは
ガスを抜いてから
出そう

冷蔵庫・エアコン・テレビ・洗濯機は 収集しませんので絶対に出さないで下さい

消費者が支払う料金（家電小売店へ引き取りを御願ひする）（消費税別）

品目	リサイクル 料 金	収集運搬 料 金	備 考
冷 蔵 庫	4,600円	各小売店 が設定	家電リサイクル法 (特定家電用機器 再商品化法) によ り、左記の4品目 は、粗大ごみとし てではなく、大切 な資源として扱わ れリサイクルされ ます。
エ ア コ ン	3,500円		
テ レ ビ	2,700円		
洗 濯 機	2,400円		

町民課生活環境係 ☎88-2119

あなたの暖かい贈り物
献血のお願い

次により移動採血車による献血を行いますので、御協力をお願いします。

皆様の善意の協力待っています。

【と き】 9月22日(月)
 【と ころ】 9:30~10:30 JR階上駅前広場
 10:45~11:50 道の駅はしかみ
 12:00~13:30 キューピー(株)階上工場
 14:45~16:00 階上町役場
 【問い合わせ】 町民課生活環境係 ☎88-2119

家具等の再生品提供のご案内

八戸リサイクルプラザでは、粗大ごみから回収されたものや、不用品として提供されたものを修理・再生・展示しておりましたが、これを皆様に提供いたします。

- 抽 選 日 10月26日(日) 午前10時から
- 抽選場所 八戸リサイクルプラザ内抽選会場
- 提 供 品 家具・自転車・ジープ等
- 提供価格 展示再生品に表示されている金額です。
- 申込方法 リサイクルプラザ備え付けの用紙(1枚で1品)に世帯主のお名前まで1世帯2品まで、(同一品の応募は不可)
- 申込期間 10月19日まで
- 引 取 10月26日~11月7日
午前9時から午後4時までの間に当選者の責任において引き取りをしてください。なお、引き取りの際に金額をいただきます。
- そ の 他 ・ジーンズセール(大人用・子供用)も開催しております。
・本の持ち帰りコーナーもあります。
・紙すき体験もできます。
- プレゼント 先着200組の方にペットボトルの金魚鉢(魚・水草・ガラスの砂共)プレゼント

【問い合わせ】 八戸リサイクルプラザ
☎70-2396 FAX23-5396

階上町クリーンアップデー

住みよい町 すすんで取り組もう

9月28日(日)

自分達の環境は自分達できれいにしましょう

この日に合わせて、町では収集しないテレビなどのごみが出されているのを見受けられます。これらについては、回収方法を守って処理してください。

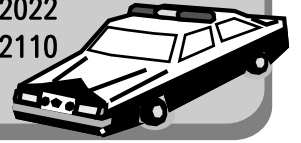
消防情報

火事は119番へ
 消防本部 ☎44-2135
 階上分署 ☎88-2105



交番情報

事件は110番へ
 階上交番 ☎88-2022
 田代駐在所 ☎88-2110



台風や大雨などの 災害に備えよう

本県は、県土の半分を山岳地帯が占めていて、河川は急勾配で短いという条件から、山崩れや洪水などの被害を受けやすい地理的・地形的環境にあります。

【普段の心がけ】

- 町で避難場所、避難経路を示しています。家族全員で確認しておきましょう。
- 非難するときの非常用携行品を、非常袋に入れて準備しておきましょう。

非常携行品

- 水 非常食 携帯ラジオ
- 懐中電灯 ロソク 医薬品
- 現金 貴重品 ロープ など



備しておきましょう。

9月9日は救急の日

この日は、救急医療及び救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深めるとともに救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的として「救急の日」と制定されています。

一一九番で救急車を要請してから現場に到着するまで、全国平均で約6分、階上分署の救急車到着もこれに近い時間となっております。心臓停止から約3分、呼吸停止から約10分経過すると50%の確率

で命が失われます。もし、心臓が止まったり、呼吸が止まった時に手をこまねいて見ていたら、大切な命を救う事はできません。

消防署では、いざという時のために正しい救命処置の普及に力を入れております。町内会、事業所、グループ単位(10名以上)で救命講習会を開催していますので、皆様も受講してみたいかがでしょうか。

【問い合わせ先】

八戸東消防署階上分署

■みんなでつくろう安心の街

八戸警察署
 八戸 43-4141 交番 88-2022

●平成15年 県内の交通事故概況● 青森県交通対策協議会

	7月中	累計	死者のうち/累計		
発生	775 (-28)	5156 (+233)		飲酒運転による死者	8 (+1)
死者	5 (-9)	50 (-6)		高齢者の死者	20 (-1)
傷者	962 (-66)	6487 (+270)		自動車乗車中の死者	24 (-6)
				シートベルト非着用死者	14 (-3)

()内は前年比。累計は1月から。

●平成15年階上町交通事故発生状況●

	7月31日現在	前年同期比増減
発生件数	28 件	±0
死者	0	±0
傷者数	30 人	-5
死亡事故ゼロ連続日数 633日		

平成15年上半年・階上町 救急出動状況について

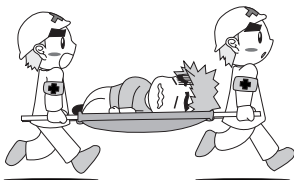
今年1月1日～6月30日までの救急出動件数は一四五件で(前年一六一件)医療機関への搬送人員は一四〇人(前年一五五人)であり、1日の

☎八八二二〇五

又、消防本部では、病院紹介を行っております。

問い合わせは消防本部救急医療情報二四一三九九をご利用ください。

平均出動件数は約1回で前年と同様でした。出動件数で最も多いのは急病99件で出動件数の68%を占め、次いで交通事故で18件で(12%)、一般負傷13件(9%)そして転院搬送12件(8%)の順となっております。



私の歩んだ道

〜階上は私の第二の故郷〜

橋本 勇

36



■お稲荷さんの使者の狐像
(岩手県種市町、里稲荷神社)

糞尿撒き散らし事件があり、これに関連した与太公たちが逮捕されて留置所に収容されたが、案外、思ったより刑が軽く、数日の拘留の後、全員釈放となり村に帰って来た。

私は帰って来た連中の首謀者の若い仕立て屋を呼んで質問してみた。

「お前さん、お婆さんの家にはいつて狐を発見したのか」「家中を探し、おしまえには

床の間に飾ってある権現さまをひっきり返したりして探してみました。ついに狐を見付けることができませんでした」

「そりゃそうさ。この世の中に存在しないものが見付かるわけがない」

と言うと、彼は頭を掻き掻き、ニヤ、ニヤと笑った。

この時の、階上駅前、糞尿譚以来、狐付き騒動は何時と

はなしに終焉した。

今では、狐の「キ」の字も言うものはなく、たまたま訪れる、自律神経失調症やノイローゼの患者に

「お前さんに狐が一匹付いているかも知れないよ」と冗談に言うのと、

「いや先生、一匹どころか、二、三匹も付いているかも知れませんか」

と笑いながら話し合える時代となった。

今年三月より七回にわたって掲載して参りました、狐付き(憑依妄想)のお話はこの辺で終着とし、続いて橋本勇先生の文献を、昭和六十年、津軽書房発行、階上町史、正部家奨著より紹介させていただきます。

(写真と文責 正部家 奨)

ちびっこギャラリ

幼児・児童の作品



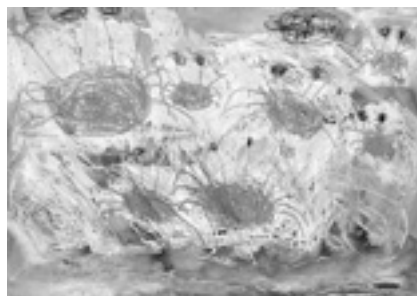
ごんだいゆりかちゃん
小舟渡児童館 (6歳)



「うみへおさんぼ」



いしだゆきなちゃん
新田児童館 (5歳)



「カニさんをいっぱいもらった」

ふくやしの

溪辺の花

<172>

有谷 升

タカアザミ (きく科)

湿った草地に生える越年草。根生葉は花時にはない。このタカアザミは、周りの花たちよりはるかに抜き出て、草原にそびえ立っている。花は夏から秋にかけて茎のてっぺんの、長い柄の先に淡紫色の花をぶら下げたように咲く。

タカアザミの名は①茎が直

立して高く伸びるため②頭花の枝が長く突きあがるためという二説があるという。見た目からは想像もつかないが、花の手触りが柔らかい。タカアザミは群がって生えることはなく、孤高のアザミといえるかも知れない。



背が高い

史記

はしかみのかたりべ

◇117◇

正部家 奨 / 作・佐藤 明 / 画

九戸の乱と道仏城 (五十五)

籠城軍の擲手の配備について弱かったのではないでしょうかと述べましたが、この地点は猫淵川、白鳥川の貯水池のある事から防御上軽視されたのも無理からぬ判断であったかもしれません。

また、攻撃軍においては、

最も困難が想定される擲手攻撃に南部信直軍を担当させたのが適切な命令であったでありましょう。決死の覚悟で臨んだ南部信直軍が九戸城落城の起因となったことは言うまでもありません。

九月二日。この日が総攻撃



を期した日でした。

大手方面において朝の辰の上刻(午前八時ごろ)を過ぎた頃、堀尾吉晴が狼煙を上げて総攻撃の合図をしました。蒲生、堀尾の両将は軍兵を

合わせ、大手に向かって猛烈に攻撃を開始し、死傷者が出た。この攻撃のあまりにも猛烈なために城兵の苦戦の状況を見ていた九戸政実、擲手には白鳥、猫淵川の貯水池があつて敵軍の攻撃もありえずとして東北面の守備兵を西南の大手の救援に向かわせました。擲手方面の攻撃に向かった南部信直は、同じく若狭館、石沢館の攻撃に向かっていた井伊直政と協議をして、信直は白鳥川の、直政は猫淵川の貯水池を決壊させましたので、水は見る見るうちになくなりました。城中では大手門方面があまりにも激戦であったので貯水池が決壊された事に気が付きませんでした。この事を知った九戸方は、七戸家國、円子元綱の両将に修理を命じましたが、時すでに遅く間に合いませんでした。



各課直通電話番号

課名	直通電話番号
総務課	88-2112
企画課	88-2113
税務課	88-2114
保健課 <small>福祉係・国保係・介護保険係</small>	88-2115
福祉課 <small>保健衛生係</small>	88-2641
農林水産課	88-2116
建設課	88-2118
町民課	88-2119
出納室	88-2049
議会事務局	88-2369
学務課	88-2495
社会教育課	88-2698
体育課	88-2764
農業委員会事務局	88-2946
F A X	88-2117

今月の表紙

お盆の伝統行事として赤保内地区に伝わっている「念仏踊り」が、お盆の入りの8月13日に同地区内の墓地で行われました。

この念仏踊りは、赤保内青年駒踊り組が毎年行っているもので、駒踊りとともに古くから伝えられているものということです。

組の皆さんは、念仏を唱えながら拝んだり地面を掃くような舞を披露し、ゆっくりと墓地の周囲を3回周ることで、墓地に眠る先祖の霊を慰めました。

写真は踊りの前に行われた「墓念仏」の様子。この1年に亡くなった方の墓前に座り、もの悲しい笛や太鼓に合わせて、静かに故人を偲びました。

人のうごき

世帯数と人口

平成15年8月1日現在（±前月比）

世帯数 5,263世帯（+19）

総人口 15,195人（+4）

男 7,687人（+4）

女 7,508人（±0）

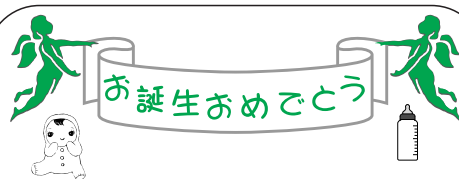
まちのガイド

期間：9月16日～10月15日

★行事等の問い合わせ【担当課】【施設】へ★

月日	曜日	行事等（問い合わせ）	場 所	時 間
9月16日	火	陶芸教室（一般の部）（社教課）	町陶芸作業所	10:00～15:00
		はしかみキャンパス（ダンベル体操）（社教課）	ハートフルプラザ・はしかみ	19:00～21:00
9月17日	水	陶芸教室（一般の部）（社教課）	町陶芸作業所	10:00～15:00
9月18日	木	町教育相談（学務課）	役場3階会議室	13:00～16:00
		はしかみっこ支援センター相談日（社教課）	ハートフルプラザ・はしかみ	13:00～17:00
9月20日	土	郡中体連秋季大会（～21日）		
		はしかみキャンパス（わらじを作ってみよう）（社教課）	ハートフルプラザ・はしかみ	14:00～16:00
9月21日	日	360歳野球大会（体育課）	道仏中グラウンド	9:00～
		ミニバスケットボール教室（体育課）	田代小体育館	9:00～
		剣道クラブ（体育課）【家庭の日】	町民体育館	10:00～
9月24日	水	3歳児健康診査（保健福祉課）	ハートフルプラザ・はしかみ	13:00～
		民俗資料収集館開館日（社教課）	町民俗資料収集館	9:00～16:00
9月25日	木	はしかみっこ支援センター相談日（社教課）	ハートフルプラザ・はしかみ	13:00～17:00
9月27日	土	わんぱく王国（八幡馬の色付けを体験しよう）（社教課）	ハートフルプラザ・はしかみ	10:00～12:00
9月28日	日	青森県高校自転車ロードレース大会	登山口周辺	9:00～
		ミニバスケットボール教室（体育課）	金山沢小体育館	9:00～
		剣道クラブ（体育課）	町民体育館	10:00～
9月30日	火	陶芸教室（一般の部）（社教課）	町陶芸作業所	10:00～15:00
		はしかみキャンパス（効果的コミュニケーション）（社教課）	ハートフルプラザ・はしかみ	19:00～21:00
10月1日	水	陶芸教室（シニアの部）（社教課）	町陶芸作業所	10:00～15:00
10月2日	木	就学児健診（学務課）	階上小・石鉢小	
10月3日	金	就学児健診（学務課）	ハートフルプラザ・はしかみ	13:00～17:00
10月4日	土	わんぱく王国（小豆ぱんとを作ろう）（社教課）	大蛇小・小舟渡小	
10月5日	日	パパ・ママ学級（保健福祉課）	ハートフルプラザ・はしかみ	10:00～13:00
		ミニバスケットボール教室（体育課）	登切小体育館	9:00～
		剣道クラブ（体育課）	町民体育館	10:00～
10月7日	火	陶芸教室（一般・シニアの部）（社教課）	町陶芸作業所	10:00～15:00
10月8日	水	はしかみキャンパス（出会い、ふれあい、人の味）（社教課）	ハートフルプラザ・はしかみ	19:00～21:00
10月9日	木	はしかみっこ支援センター相談日（社教課）	ハートフルプラザ・はしかみ	13:00～17:00
10月12日	日	野沢勝蔵杯野球大会	道仏中グラウンド	9:00～
		ミニバスケットボール教室（体育課）	登切小体育館	9:00～
		剣道クラブ（体育課）	町民体育館	10:00～
10月13日	月	学芸会	赤保内小・小舟渡小	
10月14日	火	町生涯スポーツフェスティバル（体育課）	登山口・町民体育館	10:00～
		就学児健診（学務課）	道仏小	
		民俗資料収集館開館日（社教課）	町民俗資料収集館	9:00～16:00
		はしかみキャンパス（効果的コミュニケーション）（社教課）	ハートフルプラザ・はしかみ	19:00～21:00

平成15年8月受付分



（父の名・母の名） 地区名

清水 孔 雅（基 秀・恵利子） 蒼 前

上野 栄 貴（弘 道・裕 子） 道 仏

小松 裕太郎（正 明・聡 子） 駅 前

引敷林 に こ（孝 弘・悦 子） 平 内

久保 遊 斗（隆 義・栄 子） 小舟渡

本波 歩 夏（博 昭・三千代） 野場中

笹山 雄 貴（勝 彦・司 子） 荒 谷

前途を祝福します

（住所又は元の本籍）

（黒 澤 訓（蒼 前）
（蟹 沢 典子（八戸市）
（清 水 亮 裕（追 越）
（雪 畑 ユカリ（種市町）

お悔み申し上げます

米 内 稔（67・赤保内）
小 田 兼 三（86・駅 前）
工 藤 ミヨシ（61・道 仏）
程 熊 仁太郎（90・追 越）
小野寺 正 道（78・石 鉢）
坂 ト ク（91・赤保内）
下 野 亀 藏（70・小舟渡）
寅 谷 敏 男（53・駅 前）
松 川 富 男（79・石 鉢）